

PRESS RELEASE

関係者各位



問合せ：北仲スクール(横浜文化創造都市スクール)

事務局電話：045-263-9075/090-6490-5715

2011/7/8

北仲スクール主催 ヨコハマトリナーレ2011連携プログラム

クシシュトフ・ヴォディチコ：アートと戦争
Krzysztof Wodiczko: Art and War

国際シンポジウム

+

パブリック・プロジェクト
「Survival Projection 2011」(世界初公開)

■国際シンポジウム

会期：2011年8月8日(月)-10日(水) 10:00-18:00

*レセプション 2011年8月8日(月) 19:00-20:30

会場：ヨコハマ創造都市センター(YCC)3F(受付)

北仲スクール

■パブリック・プロジェクト「Survival Projection 2011」(世界初公開)

日時/会場：

2011年 8月5日(金) 20:00-21:00 新港ピア(新・港村=BankART LifeIII/横トリ特別連携プログラム) 壁面

8月9日(火) 20:00-21:00 新港ピア(新・港村=BankART LifeIII/横トリ特別連携プログラム) 壁面

8月11日(木) 18:00-19:30 せんだいメディアテーク1Fオープンスクエア

ご挨拶

北仲スクール（横浜文化創造都市スクール：横浜市中区北仲通5丁目57-2）では、2011年8月、ヨコハマトリエンナーレ2011連携プログラムとして、ポーランド出身のアーティスト、クシシュトフ・ヴォディチコ（Krzysztof WODICZKO）を招き、国際シンポジウム、パブリック・プロジェクトからなる複合イベント「クシシュトフ・ヴォディチコ：アートと戦争」を、下記の通り開催いたします。

世界を震撼させた「9.11 同時多発テロ」から10年目となる今年、第二次世界大戦中のワルシャワで生まれ、パブリック・プロジェクトという独特のスタイルの作品を通して社会的なメッセージを発し続けてきたアーティスト、クシシュトフ・ヴォディチコ（Krzysztof WODICZKO）とともに、人類の血塗られた歴史に対してアートは何をすべきなのかという彼の問いかけを巡って徹底的に討議する国際会議を開きます。

彼は、1999年に広島で発表された原爆ドーム・プロジェクトや、今年の春、パリで公開された「パリ凱旋門—戦争廃絶のための世界協会」をはじめ、戦争メモリアルを題材として、戦争の廃絶と平和構築を訴える作品を数多く発表してきました。この会議は彼のこのような呼びかけに対する、国内外のアーティスト、哲学者、社会学者、人類学者、宗教学者、評論家、キュレーター等、さまざま立場の人々からの応答であり、明日の世界へとつながる「始まり」の一歩となることでしょう。

また、この会議は、ヴォディチコの問いかけに正面から向かい合おうとする参加者たちの自発的な意志によって成立しています。私とヴォディチコは一年半程前に出会い、それ以降長い時間をかけて議論し、二人でこの会議を準備してきました。メールやネットばかりでなく、京都、東京、パリでも実際に会って熱い議論を続けてきました。その議論の輪の中に、これほど沢山の専門家たちが入ってくることになり、こんなにうれしいことはありません。

さらに大震災後の日本に向けてのヴォディチコからのメッセージである世界初公開のパブリック・プロジェクト「Survival Projection 2011」も横浜および仙台で発表いたします。ヨコハマトリエンナーレ2011の開幕に合わせて、横浜から世界に向けて熱いメッセージを発信します。

ぜひご取材、ご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

主催者

北仲スクール代表・室井尚



1.国際シンポジウム

「パブリック・プロジェクト」の創始者であり国際的に著名なアーティスト、クシシュトフ・ヴォディチコ、その他国内外の人類学者、哲学者、宗教学者、社会学者、心理学者、ジャーナリスト、アーティストたちが参加し、ヴォディチコが一貫して取り組んできた戦争廃絶に向けての提言に市民とともに徹底討論していきます。通訳付き。参加費無料（事前登録制）。

本シンポジウムは3日間連続の徹底討議を行います。

1日目は基調講演等、全体会議を中心に、

2日目、3日目は

「戦争の最終的廃絶—凱旋門の彼方へ」

「アートと社会参加—日常性と壊乱の戦略」

「ヴォディチコと“ヒロシマ”—心の武装解除のために」

という3つのテーマのラウンドテーブルに分かれての徹底討論となります。

(ラウンドテーブルの出席者や参加日は変更になることがあります。)

■ 会期および会場

2011年8月8日(月) 10:00-18:00

会場：ヨコハマ創造都市センター (YCC) 3F

レセプション 19:00-20:30

8月9日(火)、8月10日(水) 10:00-18:00

会場1：ヨコハマ創造都市センター (YCC) 3F

会場2：北仲スクール

*関連展示：8月8日(月) - 8月10日(水) 北仲ブリック事務所 (北仲スクール1F)

■ アクセス/マップ

会場1(受付はこちらです)：ヨコハマ創造都市センター (YCC) 3F

(みなとみらい線「馬車道駅」1b出口 横浜市中区本町6-50-1)

会場2：北仲スクール 2F, 3F

(みなとみらい線「馬車道駅」2番出口 横浜市中区北仲通5丁目57-2)



■参加者（予定）：

クシシュトフ・ヴォディチコ（アーティスト、ポーランド／アメリカ）
ダグラス・P・フライ（人類学者、フィンランド／アメリカ）
エヴァ・ハラバシュ（アーティスト、ポーランド／アメリカ）
ロバート・オックスホーン（アーティスト、アメリカ）
会田誠（美術家）
猪股剛（臨床心理学、和歌山県立医科大学医学部准教授）
越前俊也（美術史、同志社大学准教授）
遠藤水城（インディペンデント・キュレーター）
大澤真幸（社会学）
大西若人（朝日新聞編集委員）
奥本京子（平和学、大阪女学院大学教授）
加須屋明子（ポーランド美術研究者、京都市立芸術大学美術学部准教授）
鎌田東二（宗教学、京都大学こころの未来研究センター教授）
河本信治（美術史、京都国立近代美術館）
坂口恭平（建築家）
椿昇（アーティスト、京都造形芸術大学教授）
津田大介（ジャーナリスト）
長坂常（建築家）
西尾美也（現代美術家）
范叔如（アーティスト）
東琢磨（音楽・文化批評、ヒロシマ平和映画祭実行委員会事務局長）
藤原徹平（建築家）
室井尚（哲学、北仲スクール代表、横浜国立大学教授）
やなぎみわ（美術作家）
山出淳也（アーティスト、NPO法人 BEPPU PROJECT代表理事）
吉岡洋（美学、京都大学教授）
（50音順）

ほか、多数参加予定

■ タイムスケジュール（予定）：

8月8日（月） 会場:ヨコハマ創造都市センター(YCC)3F

- 9:30 開場
10:00 開会の辞 (室井尚)
10:10- 基調講演 1 (クシシュトフ・ヴォディチコ)
11:10- 基調講演 2 (室井尚)
12:10 昼食
13:30- 講演 (ダグラス・P・フライ)
14:30- 講演 (奥本京子)
15:30 休憩
15:50- 講演 (大西若人)
16:20- 講演 (エヴァ・ハラバシュ)
16:50 休憩
17:00- ラウンドテーブル・コーディネーター、ゲスト紹介
18:00 会議終了
19:00 - 20:30 レセプション

8月9日（火） 会場:ヨコハマ創造都市センター(YCC) 3F+北仲スクール 2F, 3F

- 9:30 開場
10:00-
【ラウンドテーブル 1】
「戦争の最終的廃絶—凱旋門の彼方へ」
(コーディネーター：室井尚)
吉岡洋, 鎌田東二, 大澤真幸, 藤原徹平, 坂口恭平, 長坂常

【ラウンドテーブル 2】
「アートと社会参加—日常性と壊乱の戦略」
(コーディネーター：椿昇)
会田誠, 遠藤水城, 山出淳也, 西尾美也, やなぎみわ, 津田大介

【ラウンドテーブル 3】
「ヴォディチコと"ヒロシマ"—心の武装解除のために」
(コーディネーター：越前俊也)
東琢磨, 范叔如, 河本信治, 加須屋明子, 猪股剛

12:00 昼食
13:00- 【ラウンドテーブル 1,2,3】
14:30 休憩・移動
15:00- 全体セッション (分科会報告および全体討議)
18:00 会議終了 (途中休憩あり)
20:00- パブリック・プロジェクション「Survival Projection 2011」実施
会場：新港ピア(新・港村)壁面

8月10日(水) 会場:ヨコハマ創造都市センター(YCC)3F+北仲スクール 2F, 3F

- 9:30 開場
- 10:00 【ラウンドテーブル 1,2,3】
- 11:30 昼食・移動
- 13:00 全体セッション(分科会報告、室井尚、椿昇、越前俊也)
- 14:30 休憩
- 15:00 全体討議 1
- 16:30 休憩
- 16:40 全体討議 2
- 18:00 会議終了、会場設営
- 18:30 - 20:00 クロージング・パーティ

*関連展示/北仲ブリック事務所(北仲スクール1F)

国際シンポジウムの会期中、「原爆ドーム・プロジェクト」、
「9.11メモリアル」プロジェクト、「凱旋門メモリアル」プロジェクト関連の
ドキュメントパネル、「Out of There」などの映像上映などヴォディチコの
代表的な映像作品、関連ドキュメント、パネルの展示、
映像上映などを行います。(8月8日 10:00-20:00、8月9日・10日 10:00-17:00)

2.パブリック・プロジェクト「Survival Projection 2011」

現代社会から抑圧され疎外された人々を対象にインタビュー取材を行い、現代社会に埋没する声なき人々の心の叫びを拾い集め、建造物の壁面にそれらの言葉を投影するクシシュトフ・ヴォディチコの代表作品「War Veteran Vehicle」に東日本大震災の被災者の声を加え、全面的に作り直した新作「Survival Projection 2011」を、プロジェクター、スピーカーを搭載した車両で横浜市内の建造物の壁面に投影します。
*世界初公開作品となります。

■会期および会場：

8月5日(金) 20:00-21:00 新港ピア(新・港村=BankART LifeIII/横トリ特別連携プログラム) 壁面
8月9日(火) 20:00-21:00 新港ピア(新・港村=BankART LifeIII/横トリ特別連携プログラム) 壁面
8月11日(木) 18:00-19:30 せんだいメディアテーク 1Fオープンスクエア

■アクセス/マップ

横浜開催 新港ピア(新・港村) 横浜市中区新港 2-5



仙台開催 せんだいメディアテーク 仙台市青葉区春日町 2-1



参考画像



クシシュトフ・ヴォディチコ プロフィール



クシシュトフ・ヴォディチコ (Krzysztof Wodiczko)

1943年、第二次世界大戦下のポーランド、ワルシャワに生まれる。ワルシャワ美術アカデミー大学院工業デザイン科終了。MIT先端視覚研究所教授を経て、現在ハーバード大学大学院デザイン学科アート・デザイン・公共圏コース教授、およびワルシャワ人文社会科学大学上級講師。ニューヨーク、ボストン、ワルシャワを拠点に活動を展開している。

公共の建物や戦争記念碑に、周縁に追いやられた都市住民のアクティブな参加によって作られたスライドやビデオを大きく投影する「パブリック・プロジェクション」や、ホームレスや移民や退役軍人などに、彼らの生活やコミュニケーションのための道具や乗り物をデザインして提供するプロジェクトで知られる。1986年、2009年ヴェネツィア・ビエンナーレ、1987年ドクメンタ、2000年光州ビエンナーレなどの国際展に参加。長年の世界平和への貢献に対し1998年第4回ヒロシマ賞受賞、2001年横浜トリエンナーレ出展。2011年1月ポーランド文化賞受賞。

クシシュトフ・ヴォディチコ：アートと戦争
Krzysztof Wodiczko: Art and War

主 催：北仲スクール（横浜文化創造都市スクール）
共 催：ヨコハマ創造都市センター(YCC)（公益財団法人横浜市芸術文化振興財団）
特別協力：独立行政法人国際交流基金、株式会社ドリーム、
東京藝術大学美術学部先端芸術表現科木幡和枝研究室
協 賛：駐日ポーランド共和国大使館、アダム・ミツキエヴィチ協会、
アサヒビール株式会社
後 援：横浜市文化観光局
仙台共催：せんだいメディアテーク

ヨコハマトリエンナーレ2011連携プログラム
横浜市先駆的芸術活動助成事業
神奈川県文化芸術団体事業助成事業

◇北仲スクール（横浜文化創造都市スクール）◇

横浜国立大学(代表校)・横浜市立大学・東京藝術大学・神奈川大学・関東学院大学・東海大学・京都精華大学の
7大学によるサテライトスクール。「横浜文化創造都市スクールを核とした都市デザイン／都市文化の担い手事業」
(文部科学省「平成21年度大学教育のための戦略的大学連携支援プログラム」)の採択をうけ、「北仲ブリック」
(1926年竣工の旧帝蚕倉庫本社ビル)内に開設(馬車道駅2番出口すぐ、横浜市中区北仲通5丁目57-2)。

取材のご依頼／お問い合わせ

北仲スクール(横浜文化創造都市スクール)事務局

広報担当：宮本裕子

電話：045-263-9075／090-6490-5715 FAX：045-263-9076

E-mail: artandwar2011@kitanaka-school.net

<http://artandwar2011.kitanaka-school.net>